

# 川内倫子展 照度 あめつち 影を見る

KAWAUCHI Rinko

Illuminance, Ametsuchi, Seeing Shadow

2012年5月12日(土)ー7月16日(月・祝)

観覧料=一般 700円(560円) / 学生 600円(480円) / 中高生・65歳以上 500円(400円)  
\*( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員 \*小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 \*第3水曜日は65歳以上無料  
開館時間=10:00~18:00(木・金は20:00まで) \*入館は閉館の30分前まで 休館日=毎週月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)  
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 産経新聞社 助成:アサヒビール芸術文化財団  
協賛:富士フイルム株式会社 / 東京都写真美術館支援会員 協力:アサヒビール株式会社 / スガアート / フルハウス / Fondation d'entreprise Hermès  
後援:サンケイスポーツ / タ刊フジ / フジサンケイビジネスアイ / iza! / SANKEI EXPRESS  
会場=東京都写真美術館 2階展示室 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 TEL. 03-3280-0099

## 東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内 www.syabi.com

無題 シリーズ《あめつち》より 2012年



広大な宇宙のなかの、そのうちのひとつの星の地の上で、はじまりについて思いを馳せる。地は天を映す鏡。鏡を写す写真。天と地をつなぐもの。闇が底をつくとき光がやってくる。

東京都写真美術館では2000年以降の時代を代表する写真家として若い世代を中心に支持され、国際的にも活躍する川内倫子の個展「照度 あめつち 影を見る」を開催します。

川内倫子は、私的な日常光景を切り取り、つなぎあわせ、普遍的な生命の輝きへと昇華させる写真表現によって同時代の高い評価を獲得してきました。特定の時間や場所を記録する写真の束縛から解放された瞬間瞬間の光景には、光と闇、生と死、過去と現在が交錯し、容易に言葉に置き換えることのできないイメージの純粋さは、見る者のさまざまな記憶や感情を呼び覚まします。

本展で初公開となる新作シリーズでは、地球上の数々の事象をとおして、作家の感覚と直観は、より大きな世界へと向けて開かれてゆきます。首都圏の美術館で初めての個展となる本展は、2011年発表のシリーズ《Illuminance》(イルミナンス)と最新作《あめつち》《影を見る》からなる展示構成によって、川内倫子の作品世界の魅力と本質、そして新たな展開にせまります。

### 川内倫子 プロフィール

1972年滋賀県に生まれる。2002年「うたたね」「花火」(リトルモア刊)の2冊で第27回木村伊兵衛写真賞を受賞。主な著作は他に「AILA」(04年・フォイル刊)、「the eyes, the ears,」「Cui Cui」(共に05年・フォイル刊)11年「Illuminance」を世界5カ国で同時出版(日本版はフォイル刊)。09年ICP(International Center of Photography)主催の第25回インフィニティ賞芸術部門受賞。国内外で個展・グループ展多数。

### 〈関連イベント〉

対談 内藤礼(現代美術作家)×川内倫子  
5月25日(金) 18:30-20:00 1階ホール (定員190名)

対談 原田郁子(音楽家)×川内倫子  
6月22日(金) 18:30-20:00 1階ホール (定員190名)

対象 本展観覧チケットをお持ちの方  
受付 先着順 / イベント当日午前10時より1階受付にて入場整理券を配布します。  
開場 18:00 整理券番号順入場 / 自由席  
\*イベント詳細は当館ホームページ(<http://www.syabi.com>)をご覧ください。

### 〈担当学芸員によるフロアレクチャー〉

会期中の第1・第3金曜日14時より担当学芸員による展示解説を行います。  
本展観覧チケット(当日消印有効)をお持ちの上、2階展示室前にお集まり下さい。

## 東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
TEL. 03-3280-0099 www.syabi.com  
JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分。東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。  
当館には専用の駐車場はございません。お車のご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。



無題 シリーズ《Illuminance》より 2009年



無題 シリーズ《Illuminance》より 2009年



無題 シリーズ《あめつち》より 2012年



無題 シリーズ《あめつち》より 2012年